

第18回 まちづくり協議会 総会を開催！ 令和4年5月22日

第18回総会は、昨年に引き続き新型コロナオミクロン株蔓延防止のなか、感染拡大防止のため極力委任状による出席をお願いし、出席26委任27計53名で、東久保町会館で開催しました。

〔令和4年度 協議会の主な事業計画〕

1. 協議会の広報について、「夢まちづくりニュース」を年2回程度発行し、全戸に配布します。
2. まちづくり事業基金確保の「夢やさいの販売」は、新型コロナや役員高齢化等から、定例販売からイベント等の開催に併せて行います。
3. 他地区との交流は、新型コロナの鎮静状況によりますが、当地区と同様な個所を計画します。なお先進事例の見学は、現況から昨年に引き続き計画から除きます。

〔令和4年度 各部の事業計画〕

① いえみち事業部

- 広域避難所入口照明は、地権者計画に合わせます。
- 東大寺先の行止まりは、避難扉設置を計画します。
- 建築事前協議を活用し、道路拡幅等をすすめます。

② 災害対策合同本部

- 防災施設の点検整備、備蓄品整理と拡充をします。
- 防災パトは、自主防災組織と合同で実施します。
- 安否確認訓練は、年2回程度の実施を継続します。
- 防災机上訓練は、専門家に指導を頂き行います。



和田会長の挨拶



参加者間の離隔を確保しました

防災減災推進研修会を実施

令和 3.9.15



横浜市防火防災協会からアドバイザー3名、西区役所から1名、東朋会6名、東台会7名、東睦会9名の出席を頂き東久保町会館で実施しました。

平成7年に発生した阪神淡路大震災の映像を（横浜と神戸は似ている、とのことから）視聴しました。

さらに西区で震度6強、火災発生時の延焼シュミレーションを説明（会館から出火した場合の例で、5時間程度で東久保町全域が延焼するというもの）



これらの例によって自助・共助が大切と指導されました。

- 地震、火災への備え
（感震ブレーカー、家具転倒防止の説明）
- 風水害に対して
（台風・大雨等を事前に予測し、避難計画を立てる説明）

第一防災広場の掃除の日 令和4年7月3日

本年度の災害対策合同本部の事業計画の一つとして、防災広場の定期清掃を計画しました。毎年7月の第一日曜日を「第一防災広場の掃除の日」としました。

今年度初めて、7月3日（日）9時から、各町内3名以上の参加者を募り、実施しました。

日頃から東朋会のメンバーが、自主的に手入れをして頂いており、早い時間で終了することが出来ました。

参加者の皆さま、暑い中大変ご苦労様でした。

災害対策合同本部 稲田 記



東久保町地域で建築行為を行おうとする皆さまへ

必ずまちづくり協議会と事前協議をお願いします。 いえみち事業部

継続して安否確認訓練を実施中！



令和3年11月14日（日）10時より東久保町会館にて、3町内会合同の安否確認訓練を行った。当日は天気にも恵まれ、受付を各町内会情報班の方にお願ひしました。

[結果表]	(世帯数)	(安否確認数)	(確認数割合%)
東朋会	333	200	60.0
東台会	350	234	66.8
東睦会	408	273	66.9
計	1,091	707	64.8



令和4年6月26日（日）各町内会支部別に、安否確認訓練を実施した。

～東久保町東朋会～

池ノ上公園近く第1防災広場に災害対策支部を設置。常任委員に依頼された組委員が、9時00分から安否確認した結果を持参し、10時までに災害対策支部に報告。

結果	安否確認世帯	確認数	安否確認率%
	284	175	61.6



～東久保町東台会～

第2防災広場に、各幹事は10時から安否確認表を災害対策支部に報告。この日災害用トイレを広場内に設置し、来られた幹事さんに見て頂いた。

結果	安否確認世帯	確認数	安否確認率%
	331	226	68.3



～東久保町東睦会～

第1部 会館にて「安否確認訓練」、組委員が9時30分から報告。

結果	安否確認世帯	確認数	安否確認率%
	404 (ワルムを含む)	277	68.5

第2部 「自主防災訓練」をあずま坂（ホース箱No.2）にて午前10時から1時間10分あまりの間で実施した。

講師は、消防署勤務の東睦会防犯防火部、副部長の吉田健一さんを筆頭に、西消防団第2分団5名の方々からも、ご指導を頂きました。参加者は36名（内子供1名）でした。

大変な暑さの中、役員・関係者の皆さま お疲れ様でした。



東久保町の防災広場(2か所)には、何があるの？

〔第1防災広場〕

令和4年7月1日 現在

- ・保存水 2024年2月～2032年10月まで 61箱 (490ml 500ml) 1,464本

令和3年7月15日 現在

- ・発電機 1台
- ・災害用トイレ洋式タイプ2台
- ・水槽タンク用シート1枚
- ・組立テーブル、椅子1台
- ・ブルーシート 5枚
- ・エンジンオイル 1個
- ・ロープ 2個
- ・ガスボンベ 3個
- ・鍋(なべ)・釜(かま)各1個
- ・飯盆 2個

〔第2防災広場〕

令和4年7月1日 現在 <東台会 15箱東睦会 15箱>

- ・保存水2031年2月～2032年10月まで計30箱 490ml 720本

令和4年2月19日 現在

- ・大型ストーブ1台
- ・鉄を裁断する機械1台
- ・斧、金槌、釘抜き(大)各1個
- ・箒、塵取り各1個
- ・軍手10枚
- ・電源コード1個

以上の品物を備蓄、収納しています。 災害対策合同本部 橋本 調べ

横浜市からのお知らせ

東久保町は、地震火災の被害が特に集中すると想定される「重点対策地域（不燃化推進地域）」に指定されています。

市では、古い木造建築物の安全性等を調査し、助言する建築士を無料で派遣する「木造建築物安全相談事業」を行っています。

住まわれている建物の安全性を知りたい方、建て替えや改修をご検討の方は、ぜひ本事業をご利用ください。

（事業の詳細については『横浜市 安全相談事業』で、検索してください。）

対象となる建築物

- 2階建て以下の木造建築物である
- 築22年以上である
- 申込者は建築物の所有者である

⇒

調査内容

- 耐火性能の調査、耐震診断
- 擁壁、がけ、ブロック塀
- 敷地に接する道路の状況 など

問い合わせ先：横浜市防災まちづくり推進課 清野、安保（045-671-3664）

— 広域避難場所久保山墓地の入口2か所目に、夜間照明を設置しました！ —



久保山墓地は、大規模火災発生時に、横浜市から広域避難場所に指定されています。

西区にはその外に、野毛山公園、紅葉が丘一帯、三ツ沢競技場等があります。大規模火災発生時は、停電を伴いやすく、夜間では道路一体が暗闇状態となるため、入口を明示する必要があり、3か所ある入口2か所目の案内板に、10月2日太陽光蓄電式のLED型自動点灯の照明を付けました。（いえみち事業部：長堀）

『夢やさい』の販売にご協力よろしくお願いします。

売り上げの利益金は、防災まちづくりの事業基金として役立てています。
今年度から定例の販売を止めて、イベント等の開催に併せて行います。

新型コロナによる販売の不振、また仕入れの車両や役員の高齢化等によって、事業運営が難しくなっています。開催の際は、皆さまのご協力とお買い上げよろしくお願いします。
夢やさい事業部長 坪井良雄

【編集委員】 和田・村上秀・志鳥・稲田・橋本

【問い合わせ先】 ☆東久保町夢まちづくり協議会

〒220-0062 横浜市西区東久保町 29-11（会館） ☎ 045-241-7150（和田）